

# 女性委員会通信

220  
2015.8.3

東京都港区新橋六 七 一 川ロビル六階  
全国労働組合連絡協議会 女性委員会  
TEL 〇三 五四〇三 一六五〇  
FAX 〇三 五四〇三 一六五三

## 「アベ政治を許さない」 闘いをひろげよう！

### 国民の声を無視し、戦争法案に突っ走る自公の暴走「STOP」を！！

二度と戦争への道を歩まない！  
安倍政権は、7月15日の衆議院特別委員会、翌16日の本会議で集団的自衛権の行使を可能にする安保関連法案を強行採決し、7月27日に参議院本会議で審議入りさせた。

学者や研究者が憲法違反の立法だと批判しているにもかかわらず、また、労働者・市民・学生や、全国各地、各界からの「戦争できる国、絶対反対」の声を無視しての強行採決は許すことができない。

7月18日から20日の三連休が過ぎれば、反対の動きも弱まるだろうとの政権の目論みは見事に外れ、憲法九条をないがしろにし、70年続いた戦後を危うくするこの法案に反対する動きは、ますます広がっている。



7月28日、日比谷野音で「強行採決許すな！戦争法案廃案へ！7.28大集会」を開催  
総がかり行動通信 12より転載

学生たちのグループSEALDS（シールズ）の国会前金曜行動には労働者・市民・学者など、続々と参加が広がり、また、7月26日には渋谷で「安保関連法案に反対するママの会」が反対デモを行い、「だれの子どもも、殺させない」と書かれたピンク色の横断幕を掲げての行動があった。女性週刊誌が特集を組むなど、「戦争できる国」造りに

反対する動きはかつてない広がりを見せている。

この法案を「強盗」や「火事」に例えるなど、安倍首相は訳の分からない説明に終始しているが、こんな政権に私たちの平和への思いを踏みにじらせることはさせない。

各社によって数字は微妙に異なるものの内閣支持率は下がり続け、不支持が上回っている。

暑い暑い夏日が続く中だが、私たちは総がかり行動や澤地久枝さん等個人の呼びかけにも呼応して、二度と戦争

## 平和な日本だと感じていられたのは、 沖縄に大きな負担と、私たちの無責任さだった

### 女性委員会 学習会報告

7月9日、全労協事務所において、第2回の学習交流会が行われた。最初に4月5月の沖縄の闘いのビデオ「速報 辺野古の闘い」を見てから、学習会は始まった。

まず、今年の県民大会に合わせて平和行進が取り組まれ、大きな成果とともに非常に厳しい沖縄の状況、本土側にいるものが知らなければならぬ、理解しなければならぬ大きな溝が現存している事、今は危ういけれど、ずっと平和な日本だと感じていられたのは、沖縄に大きな負担と、私たちの無責任さを押し付けてきたからだと思いが知らされた。

なぜオールおきなわになったのか。今のままでは自民党であつても、民主党であつても何も変わらず、基地は本土から遠くにあればよい、自分たちのそばに来ることは許さない、との声が蔓延し、オールジャパンとの闘いとなつ



総がかり行動通信より

への道を歩まない闘いを続け、この法案を廃案に追い込もう。

8月30日には全国で百万人、国会前に10万人の結集を成功させよう。くれぐれも体調に気をつけて！

ていることである。2013年に出された建白書、この内容で沖縄は一つとなった。この内容は保革を問わず、沖縄県民の願いであること、普天間が世界一危険であるから辺野古へ移せばいいとはならない。ここなのである。

最近の情勢は、何としても安保関連法案を通すため、また通せると高をくくり、学習会での事としてもみ消そうとした「百田発言」を引き出した与党国会議員発言等、沖縄県人に本土に逆らうなど脅しをかけてきたようなものである。自分たちに都合のいいデータを用いて、沖縄在留の米兵より、県民の方がはるかに高い件数で、性的暴行事件が起きているといい、実情を全く理解していない。など短い時間で多くの問題提起が、女性委員会幹事の中原さんと大田区職労の藤村さんからあった。参加者全員から、沖縄に対する思いや、自分出来る事、やらなくてはならないことなどの発言があり、貴重な時間となった。

(K)

# ハンナ本社前で

## 「派遣法改悪を止めよう！」 「参議院で否決せよ」と大宣伝

戦争法案強行採決で国会は空転、派遣法の参議院での審議は7月16日も21日も飛んだ。

雇用共同アクションは17日18時から東京駅そばにあるパソナ本社前で、今審議中の派遣法改悪案は派遣先・元企業の利益優先で派遣労働者の雇用安定やキャリアアップには全く実効性がないことを訴えた。

純中立労組懇の黒部さんが法案の問題点、衆議院の審議の不十分さ、行動主旨を紹介し、派遣労働の当事者3人がアツピール。

民放労連の阿部さんは専門26業種も3年で雇止となるが、放送の職場では正社員は一握り、番組は下請けや派遣の労働者がつくっている、3年でダメとなってもカメラマンは別の職種に代われない、法案は実態を知らないものが作ったもの、廃案にと訴えた。替え歌や水戸黄門も登場して派遣法改悪を狙う元凶を懲らしめましようという道行く人に訴えた。

大阪と同時行動の予定だったが、台風で大阪行動は順延となった。

厚労委員会傍聴と昼休みの国会前行動を確認し、パソナ前で派遣法改悪は許さないぞー、ハケン社員を正社員と差別するなー、安倍政権の雇用破壊と闘うぞー、格差と貧困を拡大する政策と闘うぞーとシュプレコールを上げた。

参議院での実質審議は7月30日からはじまった。



7月17日パソナ前抗議宣伝行動



7月28日 国会前宣伝行動

### 被爆70周年原水爆禁止世界大会・福島大会

核廃絶、脱原発を目指し、憲法を守りぬく！

原水爆禁止世界大会が福島県いわき市で始まった。8月1日、炎天下の福島県いわき市平中央公園において、原爆投下から70年、また安倍政権による川内原発1号機の再稼働強行が目前とされる中、全国から被爆者や東電福島第1原発事故の被災者、労働組合員ら850人が集まり、全世界からの核兵器廃絶と脱原発を訴え集会を開催して終了後に市内をデモ行進した。

猛暑の中を全国から駆け付けた参加者による黙祷から集会は始まり、長崎で被爆した原水禁の川野議長から「断固として核廃絶、脱原発を目指し、憲法を守り抜く」との力強い挨拶に続き、地元の福祉県平和フォーラムの角田代表から「福島での大会は5回目となるが、より被災地に近い所で開催したく「いわき市」での開催となった。いまま県内外で11万人が厳しい避難生活を余儀なくされている。東電に見える形で責任を取らせたい。」と怒りに満ちた訴えが胸に突き刺さった。全町避難が続く福島県楡葉町の青木町議会議長、高校生平和大使のアピールの後、大会宣言が採択された。

7月31日、検察審査会は福島第一原発事故の刑事責任を業務上過失致死傷容疑で告発された東電の当時の役員3人を「強制起訴」と議決した。原発政策を進める政府と東電の責任追及をともに脱原発社会を目指した行動を福島県被災地の怒りを忘れずに全力で取り組んでいこう。



集会終了後のデモ行進

東京全労協 中原純子

### NTT(旧電電公社)の職業病との闘い

NTT第30回株主総会が6月26日に開催され、NTT内4労組(東京労組、NTT関連合同労組、電通労組、通信労組)と木下支援共闘会議で40名の仲間との結果のもと、株主に対しての情宣行動が行われました。

その後の総会へは、大森支援共闘会議議長をはじめ共闘会議の仲間が参加。共闘の仲間が発言することができました。発言内容はこの職業病に関し、「旧電電公社時代に交換手の方7千名

が頸肩腕障害を発症し、その象徴が木下孝子さんです。自殺された方もいると聞いています。裁判で解決済みと言われるが、国策のもとでの雇病であり、NTTの安全配慮義務違反は明らかで、30周年の礎となった頸腕障害者の思いをさせて、この問題の解決にむけ真摯に向き合ってほしい」と訴えました。会場は静まりかえり発言者の訴えに聞き入っていました。NTTの答弁は「司法判断で決着済み」と相変わらずでしたが、今までは木下さんが発言するとヤジが飛んだり、マイクを切られたりしましたが、会場内の雰囲気が変わってきたなと感じられました。

### 私のお気に入り

いただきもの

クリーニング受付業務に就いて2年、想像以上にお話し好きのお客が多く、差し入れの多いことに驚く。コーヒー、お茶、最近は暑いせいアイスのお差し入れまであった。

正直、その日にお預かりしたクリーニング代より高いものを頂くのは気が引ける部分もあるのだが、お客様の気持ちをお金



に換算するのはいやらしい行為だろう。「求めず、ただ与えられるものを頂く」これはこれで一つの真理かもしれない。

つい先日はクリーニングされた真っ赤なニットをそっくりそのまま手渡された。いらぬ服を押し付けられているとも受け取れたのだけれど、

ありがたく着させて頂こうと思っている。さて赤なんて似合うだろうか？



全国一般三多摩労組 渡辺香織